

# 瀬戸南東北顧問が国際交流特使に

## 郡山市が委嘱、独自の連携推進



渡邊理事長と郡山市国際交流特使の委嘱状を披露する瀬戸先生(右)

南東北グループ顧問で脳神経疾患研究所の国際医療部長を務める瀬戸皖一先生(79)は、郡山市より「国際交流特使」に委嘱されました。3月18日(月)に行われた本院の朝礼で、渡邊一夫理事長よりあらためて委嘱状が伝達されました。発令は1月10日付。本院はドイツ・エッセン大学医学部と医療協定(MOU)

を締結しており、瀬戸先生はこの交流事業に深く関わってこられました。一方、郡山市は本院の活動や県とドイツ・ノルトラインヴェストファーレン州の交流事業を背景に平成29年、エッセン市と再生可能エネルギーや医療機器の分野で産業連携・交流を進める覚書を交わしています。郡山市は今後、エッセン市との連携事業をさらに押し進める上で、瀬戸先生の協力を期待しています。

郡山市国際交流特使は平成25年度に制度化され、「国際的に活躍し、その活動が郡山市の国際交流推進や文化振興に寄与すると認められる方」が選ばれています。最初の特使に中部テネシー州立大学名誉教授の川人清氏が任じられて以来、これまでラグビー選手の大野均氏、ベトナム国立交響楽団音楽監督兼指揮者の本名徹次氏らが委嘱されています。特使委嘱は瀬戸先生で6人目となります。

瀬戸先生は、総合南東北病院の口腔がん治療センター長で、鶴見大学歯学部附属病院長、同大学歯学部長、同学長補佐、日本学術会議会員などを歴任しています。

### 11月の健康

「せん妄」とは意識障害の一種で、高齢の入院患者さん、特に手術後によくみられるものです。もちろん、自宅でも起こる可能性があります。夜寝ないで興奮し、幻覚が見えたりトンチンカンなことを言ったりトンチンカンなこと(過活動型)、日中ぼんやりして自分が居る場所や日にち・時間が分からず、注意散漫で話しがトンチンカンになります。(低活動型)状態となります。低活動型は認知症やうつ状態と間違われやすいですが、①急に症状が出現する②1日の

中である程度はつきりしている時とひどく混乱している時がみられ、状態がよく変化することができません。もちろん意識が曇った状態なので、その間の出来事はほとんど記憶していません。認知症を含む脳の老化、脳の動脈硬化、脳梗塞などがあると「せん妄」が起こりやすくなります。そのうえに、入院などの環境の変化、不眠、身体疾患による全身状態の悪化やストレスが重なって「せん妄」が引き起こされます。また、睡眠薬、抗不安薬や麻

### 高齢者に多い「せん妄」

薬系鎮痛剤の服用、断酒によっても引き起こされる危険性があります。「せん妄」を予防するためには、夜しっかりと眠り、日中は外で日光を浴びて、昼夜のリズムを確保することが重要です。夜眠るために睡眠薬を服用することがありますが、

従来の睡眠薬、特に作用時間の短い睡眠薬は「せん妄」を引き起こす危険性があるので注意が必要です。最近発売された2種類の睡眠薬には「せん妄」の危険性は無く、かえって「せん妄」を予防する効果があると言われています。

「せん妄」の治療は鎮静剤などを用いて夜しっかりと眠ってもらう、昼はしっかりと覚醒を保って昼夜のリズムを確保することで行われます。もちろん全身状態の改善も必要です。治療によって早ければ1週間以内で改善がみられます。入院している場合には、退院して慣れ親しんだ自宅に戻り、夜寝ないで興奮する、日中ぼんやりして話しがトンチンカンで噛み合わないなどの状態がみられたら、できるだけ早く精神科に相談してください。(総合南東北病院 精神神経センター長・渡邊義文)

南東北医療クリニック		
脳外科	月曜日 木曜日	13:00~15:00 12:30~14:00
小児科	月~土曜日	9:00~11:00 14:00~16:00
内科	月・火・木・金曜日	9:00~10:30
泌尿器科	水・木曜日	13:00~15:00
皮膚科	土曜日	9:00~10:30
南東北眼科クリニック		
眼科	月~土曜日	9:00~11:00

ネットで初診予約受け付けています